青龍祭実行委員会

## 1 趣旨

このガイドラインは、「茨城県県立学校情報セキュリティ対策基準を定める要綱」(平成27年9月1日施行)第51条第二項の定めるところにより、県立学校が外部ネットワークのサーバ等(以下「外部サーバ等」という)を活用して情報発信するにあたっての基本原則、トラブルへの対応等について定めるものとする。

### 2 外部サーバ等の定義

県が所管する情報システム以外に、県立学校が公式ホームページを補完する目的で運用する外部ネットワークのサーバ等(SNSを含む)をいう。

# 3 運用する外部サーバ等の種類

原則として誹謗中傷の書き込み、炎上、なりすましその他のトラブルの発生の恐れがないものを利用することとする。また、生徒等、保護者及び地域住民等(以下、「利用者」という)による書き込みが可能な外部サーバ等を利用する場合は、利用時のトラブルを軽減するために、原則として、利用者が書き込み(コメント)ができないように設定する。

#### 4 運用する外部サーバ案

Instagram

### 5 運用上の基本原則

- (1) 学校情報セキュリティ管理者は、外部サーバ等で公開する内容、表現及び構成の一切について、管理責任を負うものとする。
- (2) 外部サーバ等を活用した情報発信は、学校単位で当該外部サーバの運営者が発行するアカウント(以下「公式アカウント」という)を取得して行うこととする。
- (3) 学校情報セキュリティ管理者は、あらかじめ運用ポリシー及び利用規約(以下「運用ポリシー等」という。) を、公式アカウントごとに定めるとする。
- (4) 学校情報セキュリティ管理者は、運用ポリシー等を茨城県立学校情報セキュリティ管理事務局へ報告することとする。
- (5) 学校情報セキュリティ管理者は、公式ホームページにおいて運用する外部サーバ等の種類及び、公式アカウントで表示される Web ページへのリンクを明記し、このガイドライン及び運用ポリシー等を掲載するとともに、当該外部サーバ等の Web ページに、これらを掲載した公式ホームページの URL を明記することとする。
- (6) 公式ホームページから外部サーバ等へリンクを貼る場合は、外部ページであることを明確にするものとする。
- (7) 公式アカウントへのログインパスワードの設定にあたっては、推測されやすいものは避け、第三者に知られることのないよう厳重に管理し、定期的に変更するものとする。

- (8) 教職員による書き込みは、公式アカウントを使用し、原則として、勤務時間内であって運用ポリシーにおいて定める運用時間内に行うこととする。ただし、緊急時などやむを得ない場合の運用について運用ポリシーで定めた場合は、その定めるところによるとする。
- (9) このほかに、外部サーバ等を活用した情報発信に関して必要な事項は、「教育ネットワーク利用規約」(平成 27 年 9 月 1 日施行)及び「WEB ページ公開に関するガイドライン」(平成 27 年 9 月 1 日施行)に準じて運用するものとする。

### 6 運用ポリシー等の内容

- (1) 運用ポリシーは、運用を行うにあたって周知すべき事項を定めるものとし、次に掲げる事項について定めなければならないとする。
  - ・運用する外部サーバの種類
  - ・アカウント名、URL 及びアカウント運用者名
  - ・外部サーバを利用した情報発信の運用方法(運用時間、意見や質問への対応方法等)
  - ・個人情報に関する取り扱い
- (2) 利用規約は利用者があらかじめ同意することが必要な事項について定めるものとし、 次に掲げる事項について定めなければならないこととする。
  - ・利用上の遵守事項
  - ・知的財産権の帰属
  - 免責事項
- 7 情報発信における BGM および楽曲 (以下「楽曲」という) の使用に関して
  - (1) 外部サーバが定める利用規約に則り、外部サーバが定める使用可能な楽曲のみ使用し、使用する外部サーバが認めていない楽曲の使用は一切行わないものとする。
  - (2) 楽曲を使用した場合、使用した楽曲が明確となるように設定する。

#### 8 トラブルへの対応等

- (1) 書き込み等に誤りがあった場合は、訂正や謝罪の書き込み等を行うなど、誠実かつ速やかな対応を行うこととする。
- (2) 公開した動画及びその他情報発信において誤って外部サーバが定める利用規約違反や著作権侵害のおそれが発生した場合、即座に削除を行い、著作権者に謝罪を行う。
- 9 公式アカウントの使用期間及び公式アカウントの削除について 公式アカウントの使用期間においては、公式アカウントを作成してから、文化祭終了後 の翌授業日(以下「使用期間最終日」という)までとする。アカウント削除においては、 使用期間最終日のうちに行う。